

令和6年度エビデンスを創出するための調査委託事業のうち
ロジックのブラッシュアップ及びデータ収集等の支援

事業実施報告書

株式会社メトリクスワークコンサルタンツ

2025年1月31日



目次

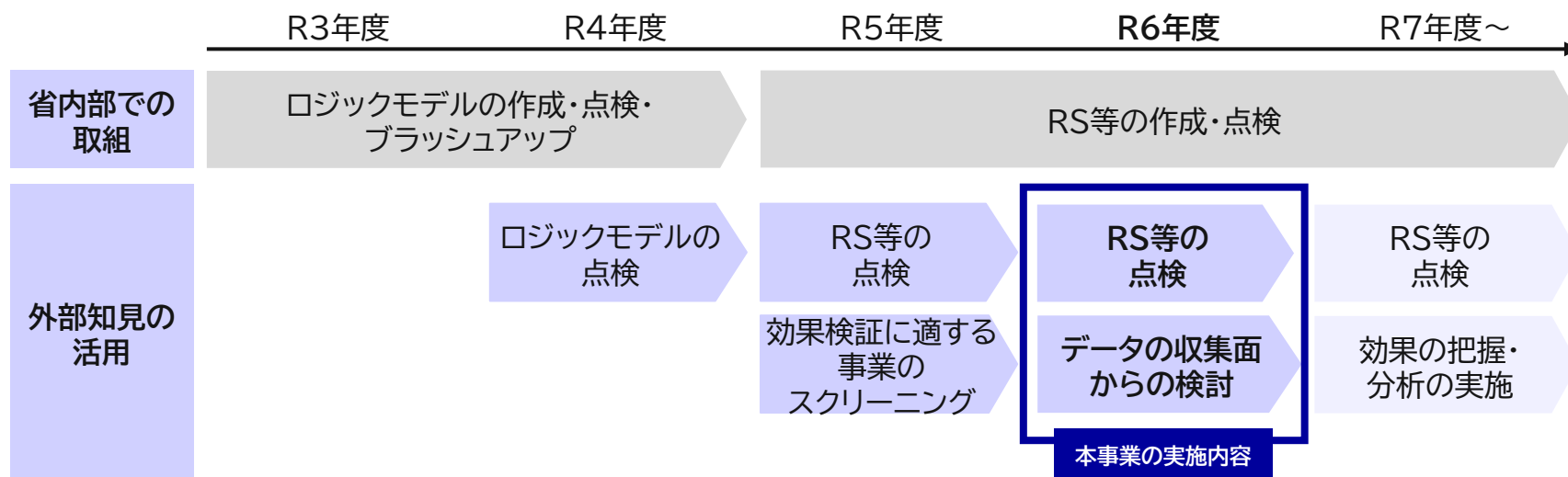
1. 事業の概要
 - 1) 目的
 - 2) 概要
 - 3) スケジュール
2. 行政事業レビューシート等の点検
 - 1) 概要
 - 2) 点検項目
 - 3) 点検シートの改善提案
3. 専門的知見を活用した支援
 - 1) 概要
 - 2) 作成資料
4. EBPM相談窓口

事業の概要

農林水産省におけるEBPM推進の背景や過去の実施も踏まえ、本事業では、行政レビューシート等の点検等を通じて、更なるロジックの精緻化を進めた

- 農林水産省では、EBPMの推進を図るため、ロジックモデルや行政事業レビューシート(以下、「RS」)の作成・点検を行ってきた
- また、外部知見を活用しながら、ロジックモデルやRS等の点検を実施し、さらにフィージビリティ調査を通して、効果検証に適する事業のスクリーニングを行った
- 本事業では、**RS等の点検、専門的知見を活用した支援等を実施し、更なるロジックの精緻化を進めた**

農林水産省におけるEBPM推進の取組と本事業の位置づけ



RS等の点検のほか、専門的知見を活用した支援(ロジックの精緻化・データの収集等支援)やEBPM相談窓口を実施した

	項目	概要
RS等の 点検 	点検シートを用いた点検	■ 点検作業を行う前に、現行の点検シートについて、必要な見直しを実施 ■ 農林水産省と点検基準等に係る目線合わせを実施 ■ 点検シートに基づき、対象事業の点検を実施
	点検結果を踏まえた分析	■ 点検結果を踏まえ、つまずきのポイントや要因、課題を整理し、対応策を提案
	点検シートの改善提案	■ 特に多く見られた誤りを中心に点検シートの改善を提案
専門的知見 を活用した 支援 	ロジックの精緻化	■ 対象事業のRS等を確認し、事業の概要や効果発現経路について、ロジックの精緻化に向けた改善事項を整理 ■ 省内の研修教材として活用できるよう資料作成
	効果の把握・分析に必要なデータの収集等支援	■ 対象事業の交付要綱・実施要領等を確認し、効果の把握・分析に必要なデータの収集等に向けた工夫・改善事項を整理 ■ 省内の研修教材として活用できるよう資料作成
EBPM 相談窓口 	職員からのEBPMに関する相談対応	■ RSの改善も含めた、職員からのEBPMに関する相談対応を提案 ■ 相談に対して、ロジックモデルを用いた整理等に関する助言を実施

以下のスケジュールで各業務を実施した

	2024年					2025年						
	7月					8月	9月	10月	11月	12月	1月	
	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週							
マイルストーン	キック オフ ▼					点検 完了 ▼				専門的支援 の資料提出 ▼	報告書 提出 ▼	
①RS等の点検	点検シート見直し ・目線合わせ		点検シートを 用いた点検					点検シート 改善提案				
②専門的支援								ロジックの精緻化				
								データの収集等支援				
③相談窓口								相談対応				
報告書作成											報告書作成・ 最終化	

行政事業レビューシート等の点検

点検基準等について目線合わせを行った後、113事業を対象に点検を実施し、その結果を踏まえながら、点検シートの改善を行った

手順

① 点検シート見直し

- 現行の点検シートの確認
- 見直し事項の提案・検討
- 点検シートの最終化

② 目線合わせ

- 試行点検の実施
- 点検結果を踏まえ農林水産省と点検基準等について目線合わせ

③ 点検

- 点検シートに基づき点検
- RS作成担当者の改善行動を促せるよう具体的な改善コメントを作成

④ 要因分析・改善提案

- 点検結果を踏まえ、つまずきのポイントや要因、課題を整理し、対応策を提案
- 特に多く見られた誤りを中心に点検シートの改善を提案

対象事業

類型	事業数
① 令和5年度予算(当初・補正)の新規事業	38事業
② FS委託事業のスクリーニングによって抽出された事業	24事業
③ 事業担当部署が点検を要すると判断した基金シート	39事業
④ 令和6年度予算(当初)の新規事業	12事業

以下の点検項目に沿って、点検・改善コメント作成を実施した

観点	点検の視点
事業の目的	単に閣議決定などの計画に言及するだけでなく、具体的な課題や、それに対する事業所管部局の「意思」が記載されているか
現状・課題	事業の目的に対応する形で具体的な現状・課題を記載しているか データを用いて記載されているか
アクティビティ	(1)政策の具体的な活動が記載されているか
アウトプット	(2-1)事業を実施した直接の結果となっているか (2-2)アウトプットの活動指標として、事業の適切な実施状況を測定するための指標がサービスを提供する側(行政側)の視点で設定されているか。
短期アウトカム	(3-1)短期アウトカムを設定しているか (3-1-1)(定性的なアウトカムを設定している場合)理由は妥当か (3-1-2)(アウトカムが複数設定されていない(単一アウトカムの)事業の場合) 「アウトカムが複数設定できない理由」欄に記載された、「当該アクティビティがどのようなロジックによって単一のアウトカム設定としているのか」を基に、設定の妥当性について確認 (3-2)事業の実施後短期間(1～2年後)に事業の対象者に生じる効果となっているか (3-3)短期アウトカムの活動指標として、適切に効果を測定する成果指標がサービスを享受する側(ユーザー、国民側)の視点で設定されているか (3-4)事業効果は具体的に記載されているか (3-5)アウトプットとのつながりが飛躍していないか (3-6)目標年度は適切か

以下の点検項目に沿って、点検・改善コメント作成を実施した

観点	点検の視点
中期アウトカム	(4-1)(定性的なアウトカムを設定している場合)理由は妥当か
	(4-2)短期アウトカムとのつながりが飛躍していないか
	(4-3)中期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか
	(4-4)目標年度は適切か
	(4-5)短期・長期アウトカムの内容が同一となっていないか
長期アウトカム	(5-1)(定性的なアウトカムを設定している場合)理由は妥当か
	(5-2)アウトカムが段階的に設定されているか
	(5-3)アウトプットおよび短期、中期アウトカムとのつながりが飛躍していないか
	(5-4)長期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか
	(5-5)長期アウトカムは事業の目的と整合しているか
	(5-6)目標最終年度は適切か
	(5-7)短期・中期アウトカムの内容が同一となっていないか
その他	上記に含まれない、その他の事項・気づいた点はあるか

特に多く見られた誤りについては、次年度以降重点的に点検できるよう点検シートの改善を提案した

Before

観点	点検の視点	点検結果	コメント
事業の目的	単に閣議決定などの計画に言及だけでなく、具体的な課題や、それに対する事業所管部局の「意思」が記載されているか。		
現状・課題	事業の目的に対応する形で具体的な現状・課題を記載しているか（事業目的の繰り返しになっていないか）。		
	データを用いて記載されているか。		

After

観点	点検の視点	点検結果	コメント
1. 全般	①専門的な用語を注釈で説明するなど、分かりやすい用語・表現で記載されているか。		
2. 事業の目的	①「XXXを整備することにより、XXXを改善する」など、事業の最終目的を明確化した上で、その達成に向けて事業がどのように寄与するか記載されているか。		
3. 現状・課題	①事業の目的に対応する形で具体的な現状（問題）を記載しているか。		
	②現状（問題）に対応する形で具体的な課題（原因）を記載しているか。		
	③データを用いて記載されているか。		

1 国民への説明責任という観点から、専門的な用語が分かりやすく説明されているか点検できるよう、新たに観点・点検の視点を追加

3 「現状」のみを記載している事業が多く見られたため、現状・課題のそれぞれの設定有無等を点検できるよう視点を分割

2 「意思」という用語が何を指しているのか分かりづらいため、記載例の追記や表現を修正

特に多く見られた誤りについては、次年度以降重点的に点検できるよう点検シートの改善を提案した

Before

観点	点検の視点	点検結果	コメント
アクティビティ	(1) 政策の具体的な活動が記載されているか（誰に対して何を行うのか）。		
アウトプット	(2-1) 事業を実施した直接の結果となっているか（アクティビティを誰にどれだけ実施するか（提供・整備）するかが記載されているか）。		
	(2-2) アウトプットの活動指標として、事業の適切な実施状況を測定するための指標がサービスを提供する側（行政側）の視点で設定されているか。		

After

観点	点検の視点	点検結果	コメント
4	4.事業の概要		①課題に対応する形で具体的に記載しているか。 ②様々なアクティビティを予定している場合は、それぞれに対応した記載（又はそれらのアクティビティが含まれることが分かる記載）となっているか。
5	5.アクティビティ		①事業の概要と対応する形で主要な活動を漏れなく記載しているか。
6			②国をアクティビティの実施主体として記載しているか。
7	6.アウトプット		①アクティビティをどれだけ実施するか（したか）に関する活動目標が適切に記載されているか。 ②上記活動目標に対応する活動指標が、実施者（行政）側の視点から適切に記載されているか。

4 課題及びアクティビティの記載内容と対応している必要があるため、新たに観点・点検の視点を追加

6 補助金の交付先等を主体として記載している事業が多く見られたため、新たに点検の視点を追加

5 事業の概要の記載内容と対応しており、かつ、主要なアクティビティを漏れなく記載する必要があるため、新たに点検の視点を追加

7 記載の有無だけでなく、適切性も点検できるよう点検の視点を修正

特に多く見られた誤りについては、次年度以降重点的に点検できるよう点検シートの改善を提案した

Before

観点	点検の視点	点検結果	コメント
短期アウトカム	(3-1) 短期アウトカムを設定しているか。(単一のアウトカムになっていないか)		
	(3-1-1) (定性的なアウトカムを設定している場合) 理由は妥当か		
	(3-1-2) (アウトカムが複数設定されていない(単一アウトカムの)事業の場合) 「アウトカムが複数設定できない理由」欄に記載された、「当該アクティビティがどのようなロジックによって単一のアウトカム設定としているのか」を基に、設定の妥当性について確認。		
	(3-2) 事業の実施後短期間(1~2年後)に事業の対象者に生じる効果となっているか(事業対象者に生じる効果より広すぎる効果になっていないか。)		
	(3-3) 短期アウトカムの活動指標として、適切に効果を測定する成果指標がサービスを受受する側(ユーザー、国民側)の視点で設定されているか。		
	(3-4) 事業効果は具体的に記載されているか(「〇〇実施計画の目標達成」のような抽象的な記載になっていないか。)		
	(3-5) アウトプットとのつながりが飛躍していないか(アウトプットから短期間に生じる効果となっているか)。		
	(3-6) 目標年度は適切か。		

After

観点	点検の視点	点検結果	コメント
8	7.後続アウトカムへのつながり(アウトプット→短期アウトカム)	①アウトプットから短期アウトカムの間のつながりについて、具体的に分かりやすく、ロジカルに記載されているか。	
9	8.短期アウトカム	①短期アウトカムを設定しているか。(単一のアウトカムになっていないか) ②短期間(原則1~2年程度)の効果発現を念頭に、成果目標が適切に設定されているか ③上記成果目標に対応する成果指標が、対象者(受益者)側の視点から適切に設定されているか ④(定性的なアウトカムを設定している場合) 理由は妥当か ⑤(アウトカムが複数設定されていない(単一アウトカムの)事業の場合) 「アウトカムが複数設定できない理由」欄に記載されている、理由は妥当か。 ⑥目標年度は適切か。	

8 後続アウトカムへのつながりを点検するための項目がなかったため、新たに観点・点検の視点を追加

9 短期アウトカムの適切性も点検できるよう点検の視点を修正したこと(②が該当)に伴い、項目間の統合や記載内容の簡潔化を実施

特に多く見られた誤りについては、次年度以降重点的に点検できるよう点検シートの改善を提案した

Before

観点	点検の視点	点検結果	コメント
中期アウトカム	(4-1) (定性的なアウトカムを設定している場合) 理由は妥当か		
	(4-2) 短期アウトカムとのつながりが飛躍していないか。		
	(4-3) 中期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。		
	(4-4) 目標年度は適切か。		
	(4-5) 短期・長期アウトカムの内容が同一となっていないか。		

After

観点	点検の視点	点検結果	コメント
9. 後続アウトカムへのつながり (短期アウトカム→中期アウトカム)	① 短期アウトカムから中期アウトカムの間のつながりについて、具体的に分かりやすく、ロジカルに記載されているか。		
	② 複数のアウトカムを設定している場合、短期、(中期)、長期アウトカムは、事業対象者や社会の段階的な行動変容や変化に関する記載となっているか。 ※ 複数のアウトカムを設定する場合、各アウトカムが質的な変化となるよう (例えば、短期アウトカム: 売上10%増加→長期アウトカム: 売上30%増加のように、時系列的な目標値の変化で区分しないよう) 留意		
10. 中期アウトカム	① 中期アウトカムを設定しているか。		
	② 中期的な効果発現を念頭に、成果目標が適切に設定されているか		
	③ 上記成果目標に対応する成果指標が、対象者 (受益者) 側の視点から適切に設定されているか。		
	④ (定性的なアウトカムを設定している場合) 理由は妥当か		
	⑤ 目標年度は適切か。		

10

時系列的な目標値の変化をもって、アウトカムを区分している事業が多く見られたため、各アウトカムが質的な変化になっているか点検できるよう新たな観点・点検の視点を追加

11

中期アウトカムの適切性も点検できるよう点検の視点を修正したこと (②が該当) に伴い、項目間の統合や記載内容の簡潔化を実施

特に多く見られた誤りについては、次年度以降重点的に点検できるよう点検シートの改善を提案した

Before

観点	点検の視点	点検結果	コメント
長期アウトカム	(5-1) (定性的なアウトカムを設定している場合) 理由は妥当か		
	(5-2) アウトカムが段階的に設定されているか(中期アウトカムを設定できないか)		
	(5-3) アウトプットおよび短期、中期アウトカムとのつながりが飛躍していないか。		
	(5-4) 長期アウトカムの成果指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。		
	(5-5) 長期アウトカムは事業の目的と整合しているか。		
	(5-6) 目標最終年度は適切か。		
	(5-7) 短期・中期アウトカムの内容が同一となっていないか。		
その他	上記に含まれない、その他の事項・気づいた点はあるか		

After

観点	点検の視点	点検結果	コメント
11.後続アウトカムへのつながり(中期アウトカム→長期アウトカム)	①中期アウトカムから長期アウトカムの間のつながりについて、具体的に分かりやすく、ロジカルに記載されているか。		
	②複数のアウトカムを設定している場合、短期、(中期)、長期アウトカムは、事業対象者や社会の段階的な行動変容や変化に関する記載となっているか。 ※複数のアウトカムを設定する場合、各アウトカムが質的な変化となるよう(例えば、短期アウトカム:売上10%増加→長期アウトカム:売上30%増加のように、時系列的な目標値の変化で区分しないよう)留意		
12.長期アウトカム	①事業終了予定年度(あるいは原則5~10年程度)の効果発現を念頭に、成果目標が適切に設定されているか		
	②上記成果目標に対応する成果指標が、対象者(受益者)側の視点から適切に設定されているか。		
	③(定性的なアウトカムを設定している場合)理由は妥当か		
	④目標最終年度は適切か。		
その他	上記に含まれない、その他の事項・気づいた点はあるか		

12

長期アウトカムの適切性も点検できるよう点検の視点を修正したこと(②が該当)に伴い、項目間の統合や記載内容の簡潔化を実施

専門的知見を活用した支援

対象事業4事業について、RS等から必要な情報を把握し、改善事項の整理や資料作成を実施した

手順

① RS等の確認

- RSから、事業の目的や概要、効果発現経路等を確認
- 交付要綱・実施要領等から、申請・報告様式や業務データの収集方法等を把握

② 改善事項の整理

- ロジックの精緻化に向けた改善事項を整理
- 効果の把握・分析に必要なデータの収集等に向けた工夫・改善事項を整理

③ 資料作成

- 省内の研修教材として活用できるように資料作成*

* ロジックの精緻化については、事業のロジックの整理方法・手順に関する資料も併せて作成

ロジックの精緻化とデータの収集等支援という2つの観点について、ロジックの整理・改善に係る資料及び申請・報告様式、提出方法の工夫・見直しに係る資料を作成した

ロジックの精緻化

データの収集等支援

目的 事業の適切な管理・評価を行うことが可能となる

漏れのないデータ取得や負担軽減が可能となる

内容

- ロジックの整理方法・手順
- RSの項目ごとの改善事項・ポイント

- 申請・報告様式の工夫
- 提出方法の見直し
- 事業効果の分析に向けた設計



EBPM相談窓口

EBPM相談窓口に寄せられた相談(3件)に対して、ロジックモデルによる整理等に関する助言を実施した

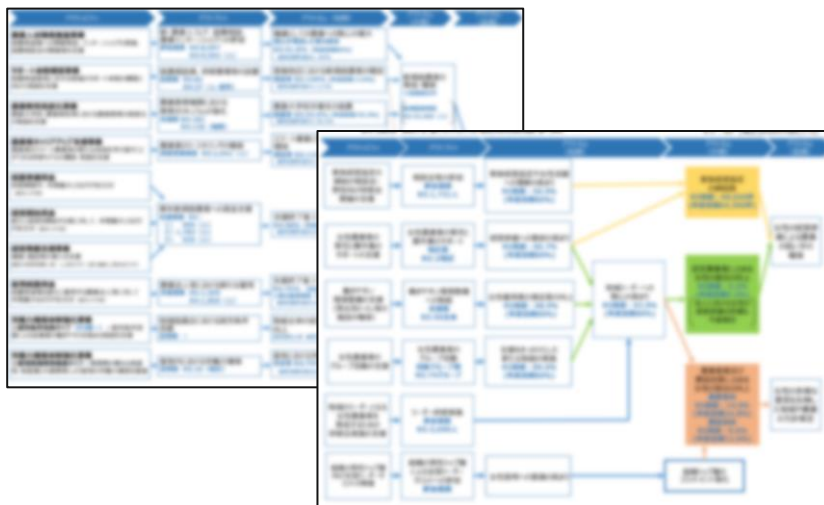
事業のロジック整理(2件)

相談 内容

個別事業の効果が全体のアウトカム・インパクトにつながっていくか確認するため事業のロジックを整理したい

支援 内容

- ロジックの整理方法・手順に関する説明
- 事業担当部局が作成したロジックモデルに関する妥当性の確認



問題を引き起こしている原因・課題整理(1件)

課題の関係性を整理した上で、適切なアウトカム・指標を設定したい

- 原因・課題の整理方法に関する説明

